

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立七戸養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他( )		
	単元(題材)名	ダンス(現代的なリズムのダンス)		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された踊りのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間やグループの課題やできばえを伝えている。【思・判・表】</li> <li>・リズムの取り方や連続した動きの組み合わせを考え、動きに変化を付けて踊っている。【知・技】</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしたり、仲間からの助言を受け入れ課題解決に取り組もうとしている。【態】</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1～3 年 22 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・示範や周りの生徒の動きを参考にしながら運動することができる。</li> <li>・ほとんどの生徒がダンスの授業に対して意欲を示している。</li> <li>・これまでにダンスの経験が少なく、リズムに乗って体を自由に動かしたり、身体表現をしながら仲間と交流する楽しさを実感するには至っていない生徒もいる。</li> </ul>		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	プロジェクター、iPad、		
	使用したアプリケーションの名称	YouTube、カメラ、Jamboard、Google Forms (QRコード)	   	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画によるダンスステップ集を参考にすることで、グループの実態に応じてそれぞれが繰り返し練習することができる。</li> <li>・自分たちのダンスを動画に残すことで、見返しを積み重ね、良さや改善点を見出したり、変化のある動きを取り入れようと工夫したりすることができる。</li> </ul>		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れや学習内容をスクリーンに投影し、生徒に提示した。広い体育館では、プロジェクターでスクリーンに投影したことで、画面が大きくなって見やすかった。</li> <li>・YouTube: 教師のダンス示範動画を限定公開し、いつでも繰り返し視聴できるようにした。ダンスステップ集の動画や示範動画を準備することで、教師はグループごとに練習する生徒を巡視でき、様子観察や言葉掛けをすることができた。</li> <li>・Jamboard: 撮影したダンスを視聴した後、アドバイスを出し合った。アドバイスの項目ごとに付箋の色を分け、見る視点を明確にしてアドバイスできるようにした。</li> <li>・Forms: 個別の学習状況把握のため、健康観察や小テスト、振り返りに活用した。教師が用紙を配ったり集めたりする時間や、生徒が筆記用具を準備したり片付けたりする時間が省け、その分の時間を学習時間に充てることができた。</li> <li>・QRコード: 必要な情報にすぐにアクセスできるよう、QRコードをスクリーンに表示した。クラスルームから課題を探す手間が省け、学習時間を確保できた。</li> <li>・入力が苦手な生徒にとっては、意見を入力することに時間がかかり、複数意見を思いについても1つしか入力できないことがあった。 →Apple pencilを準備するなど、入力の方法を選択できるようにすると良かった。</li> </ul>			